

令和4年度事業計画

I 基本方針

我が国においては、人口減少、少子高齢化が進展しており、誰もがいくつになっても活躍できる社会が求められています。

70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務とされてきていますが、一方、シルバー人材センターでは、人手不足分野での就業機会の開拓など積極的な取り組み強化が求められています。

ますます進む高齢化にて、人生100年時代を健康で暮らせることを目指さず中、それぞれの会員の皆様が社会貢献や就業で得た収入が生きがいになっており、しいてはシルバー人材センターの果たす役割に繋がっています。

新型コロナウイルスの感染は、令和4年1月以降オミクロン株による全国的な拡大を見せており、今後も目が離せません。このような中で、地方自治体や地域社会の期待に応えるべく、全国シルバーでは会員増強、就業機会の創出に努めています。

当センターにおいても契約高の低迷、会員の減少など2年連続で厳しい業績で推移しました。令和4年度についても新型コロナの収束は見込めませんが、地域のニーズに応え事業推進をしていきます。

令和5年10月開始のインボイス制度への対応も考えていかなければなりません。

令和4年度は、会員増強、就業機会拡大、安全・適正就業、活動情報発信などの基本的な事業活動を推進し、会員の満足度を上げるために、高浜町をはじめ関係機関のご指導、ご支援、地域や企業のご理解、ご協力を頂きながら、事業を進めて参ります。

II 事業実施計画

1. 公益目的事業

(1) 会員拡大と就業機会の確保・拡大

会員の数値的目標

会員数 目標 270名

粗入会率 6.7%

就業延人員目標 21,000人

受注件数 1,690件

契約金額 97,000千円

就業率 91%

- ① 剪定の出来る会員を増加させていくため、引き続き剪定講習会を実施していく。
 - ② 果樹園の内容を充実させ、体験講習会を開催するなど、新規会員の就業機会を確保していく。
 - ③ チラシ、チャンネル0、ラジオ等の利用により、情報提供を行い、地域内での存在感を拡大していく。
 - ④ ホームページの内容の充実を図り、効果的活用を行う。
 - ⑤ 野菜採りたて朝市の充実を図り、参入会員の増加を図る。
 - ⑥ 昨年同様シルバーマッチング商談会の開催を行い、新規派遣事業等の開拓を図る(主催は福井シルバー連合)
- (2) 安全・適正就業の徹底を図り、事故防止に努める。
- ① 事故ゼロを目指し、防止対策を徹底する。
 - ② 安全委員会の開催から会員への情報提供を推進。
 - ③ 安全委員会による現場パトロールし、安全指導を実施する。
 - ④ 役員による現場確認の実施
 - ⑤ 年に1度の住民健診の受診による健康管理
 - ⑥ 新人研修でのDVD等の教材から危険予知訓練を実施
- (3) 各種講習会、会議、研修会の実施や参加
- ① 新入会員には入会后3ヶ月で研修を開催し、会員としての自覚と責任をしっかりと伝える様に努める。
 - ② 年1回安全講習会の実施(3月開催)
 - ③ 役員スキルアップ日帰り研修の実施
 - ④ 地区別意見交換会の継続開催(女性の意見交換会開催)
 - ⑤ 新規就業開拓講習会を開催
 - ⑥ AEDを使った講習会を開催する。
- (4) 地域社会との信頼関係の向上
- ① ボランティア活動での公共施設の清掃などを通じ、地域との信頼関係を深めていく。
 - ② 月1回(第3金曜日)の、のびのび体操の継続による広報活動
 - ③ 年2回発行の会誌「シルバーたかはま」紙面の充実を図り、全戸配

布し、多くの町民に親しみを感じてもらえるよう努力する。

(5) 指定管理事業

- ① 老人憩いの家「瑞祥苑」については令和7年に施設の新築が予定されております。現段階での管理事業の継続による事業はコロナにより時間制限等が行われておりましたが、出来る範囲での内容の充実を図り、利用者の満足度の向上のため、施設内の美化、感染防止対策のため整備、備品の管理を適正に行ない、安心して利用できる施設を目指します。
- ② JR小浜線3駅の若狭和田駅、三松駅、青郷駅の管理事業については利用促進のため、毎年10月のボランティア活動で駅舎周辺の草刈等を行い、プランターでの花を飾り、自転車置き場の管理、清掃、美化に努めます。レンタル自転車の利用推進し、又、地元クラブが駅前広場で季節に応じた花を植えて下さっており、出来る限りの協力をしていきたい。和田駅の駐車場に車枠の白線を引き直し、利用者への利便性を向上させたい。

2. 法人事業

- ① 通常総会を5月に開催します。
- ② 年6~7回の理事会を開催し、組織の堅実経営を目指します。
- ③ 理事長、副理事長、事務局長にて組織運営についての調整
- ④ 会議を月1回開催します。同時に現場パトロールを実施します。
- ⑤ 理事長が9月、3月の理事会において自己の権限で処理した業務執行状況を報告します。
- ⑥ 理事会が形骸化しないよう、事業経過、発生している問題などをテーマにしたり、今後の運営に積極的に参加して頂けるよう、全員による会議の進行を図る。

3. 共益事業

業務拡大もさることながら、会員間での親睦を深める事業を推進していく必要があり、交流機会を作っていく。

- ① 親睦委員会、女性委員会の発足
- ② 他団体への行事の主催・協催で「歩こう会」、「グランドゴルフ大会」等への参加
- ③ 各種講習会を開催する(内容は会員、理事等から募る)